

たばた直子

議会報告
レポート
VOL.13

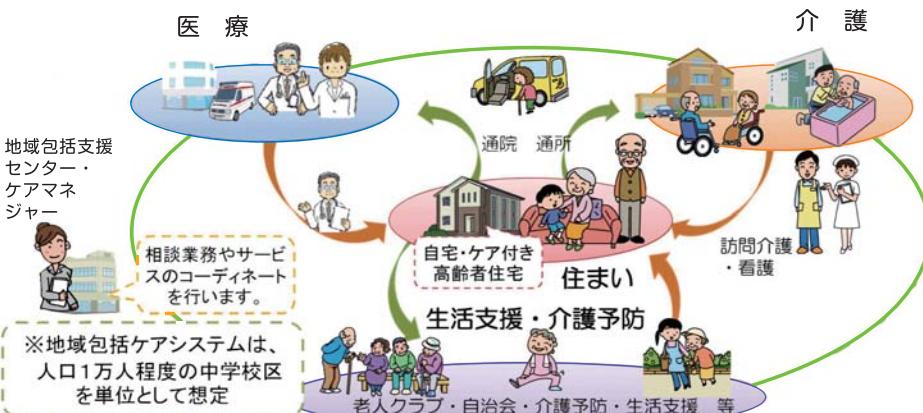


6月20日に一般質問をしました。

●地域包括ケアシステムについて

「地域包括ケアシステム」とは?

介護が必要になった高齢者が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制。



限りある医療機関に長期入院する高齢者が増えると、必要な治療を受けられない人が増えてしまうことから、団塊の世代が75歳を超える2025年に向け、認知症や慢性疾患を抱えていても地域で暮らせる仕組みを作っていかなければなりません。

国ではおむね30分以内に必要なサービスが提供できる環境を目指しており、各あんしんケアセンターを中心とした連携体制を作っていくことが必要です。今後、行政が取り組みを進めていくこととして、医療・介護の連携、在宅医療の推進、あんしんケアセンターの充実、生活支援を行う地域資源の育成などがあげられています。今回の質問では他の政令市における地域包括ケアシステム推進の先進事例をあげ、本庁・保健福祉センターの組織体制の強化、専門職の充実を求めました。

…裏面に「健康増進の支援」についても掲載しています。



みんなで知ろう。

千葉市の高齢化の実態 (H25調査)

■ 千葉市的人口 **963974人**

■ 高齢者 **222664人 (23.10%)**

そのうち 寝たきりの方 **3007人 (1.35%)**

一人暮らし **32313人 (14.51%)**

要支援者 **18913人 (8.49%)**

●子ども子育て支援新制度について(子どもルームについて)

★知っていますか? 来年度から子どもと保護者を取り巻く教育・保育の法律が大きく変わります。

特徴

- 幼稚園と保育所のいいところを一つにした「認定こども園」の普及を図ります。
- 保育の場を増やし、待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にします。
- 幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めます。

子ども・子育て支援新制度なるほどBOOK

「なるほどBOOK」の詳細はこちらからアクセス!

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/event/publicity/naruhodo_book.html

新制度により、子どもルームの対象児童が現状の小学校1年生~3年生から6年生まで拡充されることになりますが、今後どのように進めるかは各自治体にゆだねられています。そのため、どのように対応するのか質問しました。

現在の状況

■ 子どもルーム入所率 低学年児童の**28.8%**

(毎年の保育率に1~2%プラスした数値が子どもルームの入所率になっている。)

■ 毎年、利用率が**1~2%**伸びている

■ 定員よりも受け入れ児童数を拡大している子どもルーム **約35%**

子ども・子育て会議のニーズ調査結果

● 未就学児の保護者のパートも含めた共働き率 **44.4%**

● 就学児の保護者の共働き率 **53.3%**

● 就労していない保護者のうち、こどもが小学校在学中に就労を希望 **58.4%**

● 5歳児を持つ保護者の将来の利用希望低学年 **38.4%** 高学年 **27.6%**

解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する意見書(案)を議会運営委員会に提出しましたが、否決され、市議会から国に送付することができませんでした。

私達はこれまで小西洋之参議院議員による「日本国憲法を考える講演会」「集団的自衛権を考える講演会」を実施し、さらには枝野幸男元内閣官房長官による時局講演会「集団的自衛権と立憲主義」を通して、解釈改憲や集団的自衛権の問題点を考えてきました。意見書を国に送付することは叶いませんでしたが、解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に反対する街頭活動を市民の方とともに进行了。国民の総意を得られないまま、強硬に進めていく現政権に対し、野党の地方議員としてもしっかりと取り組まなければならないと考えています。

●健康増進の支援について

昨年度より市民一人一人が生き生きと過ごすための健康増進の支援策が始まりました。今まででは病気になった市民に対し、行政が支援を行っていましたが、病気を予防することは多額の税金を投入している国保費等の医療費削減にもつながるため、健康でいられるための支援が重要となります。

今後はまだ健康に気を使っていない就労世代への働きかけも促進しなければなりません。今回は健康増進活動（運動）を市民が続けていくためにはどのような行政サービスが有効であるか？という視点から質問しました。皆さんも健康支援サービスを活用してみてはいかがでしょうか？

★自治会等の地区組織や自主グループでの健康活動にポイント制を導入、景品を受け取れます。

■対象：20歳以上の市民10人以上、近隣住民で構成される自主グループ

■ポイントの対象となる取り組み：

ウォーキングやラジオ体操など、みんなで手軽にできる運動

■ポイント制サービスの活用方法：

- 1、申込期間：平成26年7月1日（火）～
- 2、ポイントになる取り組みを実施する
- 3、申請する
- 4、景品を受け取る

《問い合わせ先》美浜保健福祉センター健康課 043-270-2221

★アプリで健康ウォーキングちば2014

■スマートフォンのアプリやWEBシステムを使い、ウォーキングを楽しみながら継続するサポート。行政からの健康に関する情報も受け取れます。

■200ポイント以上貯まると、景品が当たる抽選に応募できます。

利用登録はこちらからアクセス！

クリエイティブヘルス NEXT

<https://www.chealth.net/chiba2014/>

上記アドレスから登録します。

URL二次元
バーコード



ご意見お待ちしております！

●お名前

●ご住所

●TEL/e-mail

*皆さんのご意見をお寄せください。地域の課題等お知らせください。

ご意見メモ▶

.....

.....

FAX: 043-216-3891 までお送りください

発行：たばた直子事務所

住所：〒261-0011 千葉市美浜区真砂3-4-4 2F 千葉海浜交通 稲毛海岸駅発～稲毛駅行きバス 真砂第三公団バス停前

TEL: 043-216-3861 FAX: 043-216-3891

メールアドレス: info@tabatanaoko.com ホームページ: http://tabatanaoko.com



予防接種事業が拡充されます！

★風疹

■対象者：妊娠を希望する女性・抗体価が低い人

■抗体検査：利用負担なし ■予防接種：3000円

★水ぼうそう（H26.10月から）

■対象者：1歳児～4歳児

■利用者負担：なし

★成人用肺炎球菌ワクチン（H26.10月から）

■対象者：65歳・70歳・75歳以上の方

■利用者負担：4700円



横浜市に市長表敬訪問・産後ケアの取り組み視察に行きました。

千葉市より一年早く保育所の待機児童口を実現している横浜市に伺い、林文子市長の女性首長としての考え方や、今後の待機児童解消策について伺いました。さらに、核家族化により出産後の育児が孤立している現状を踏まえ、産後ケアの取り組みを先駆けて始めたとのことで、県議会議員・産院関係者・市内助産院を中心に活動している市民団体の方々と一緒にお話をお伺いました。



横浜市市長表敬訪問「産後ケアの取り組み」視察

市政報告会のお知らせ

8月30日（土）13時～14時
たばた直子事務所で行います。

……いつもと時間が違いますので、お気をつけください!……

※予約不要ですので、お気軽にお越しください。

※またご希望があれば、車座集会を行います。

お仲間を3～4人集めていただければ、集会所等、お近くで開催いたします。お電話にて受け付けます。

プロフィール PROFILE

●1976年生まれ 38歳

●0歳時に稲毛海岸三丁目団地に転入。稲毛幼稚園出身、小学校3年生まで千葉市で過ごす。

●父の仕事の関係で名古屋・東京へ。

●1994年 都立竹早高等学校 卒業

●1996年 東京女子大学文理学部 中退

●結婚・出産を経て、再び千葉市へ。

●子育てをしながら、財団法人等で非常勤職員として勤務。学校PTA活動やボランティア活動を通じて、子育ての課題、地域連携の重要性を感じる。公募で民主党市議会議員候補となり、2011年に初当選。

●民主党千葉県連 青年委員会・男女共同参画委員会

全国若手市議会議員の会 所属

